

8月22日 - 25日（月 - 木）


## 夏の公開実習 「高冷地フィールド科学演習Ⅱ」

信州大学農学部には八ヶ岳東山麓の野辺山高原（標高 1351 m）に附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター（AFC）野辺山ステーションがあります。周辺一帯は、高原野菜の栽培と酪農が盛んな地域で、こうした環境のなかで環境保全型農業に関わる教育、研究を推進しています。

夏季の冷涼な環境で、高冷地特産のキャベツ、レタスなどの高原野菜やベニバナインゲンなどの豆類とソバを生産しています。また、黒毛和種の肥育素牛を生産する繁殖飼育を行っています。

さらに、周辺の野菜生産農家の見学や酪農施設を利用したミルクの生産、加工も体験することができます。

実習では、教員および技術職員の指導により、自炊設備を備えた宿泊施設（収容 50 名）と高冷地フィールド・施設を活用して高原野菜の生産・出荷と加工利用および家畜の飼養管理を体験し、食料の生産から出荷・販売までの一連の過程を学びます。さらに、近隣の自然観察を行い、高冷地の特異な自然環境について学びます。



夏の野辺山高原でフィールド科学を体験しませんか

高冷地フィールド科学演習

(単位互換制度による履修科目)

高冷地フィールド科学演習Ⅰ (2単位)  
平成23年8月8日～8月11日

高冷地フィールド科学演習Ⅱ (2単位)  
平成23年8月22日～8月25日

高冷地フィールド科学演習Ⅲ (2単位)  
平成23年9月5日～9月8日

集合・解散場所：信州大学農学部（南箕輪村）  
実習先までは大学の大型バスで送迎します

実習地・宿泊先：信州大学農学部附属アルプス圏  
フィールド科学教育研究センター  
野辺山ステーション  
(長野県南佐久郡南箕輪村)

演習内容

- ・高原野菜の栽培管理と収穫・出荷
- ・和牛や山羊の飼育管理
- ・飯盛山自然観察
- ・搾乳・乳製品加工体験（バター・牛乳豆腐等）
- ・作物を利用したそば・うどん打ち加工  
実習場により変更する場合があります。

申し込み方法

受講を希望する学生は、「県内大学単位互換履修部」に必要事項を記入の上、下記の期限までに所属する大学の担当係へ申請してください。授業料は無料です。(宿泊・食費は現地で実費を徴収します)

期限：平成23年7月26日(月)

問合せ先：信州大学農学部学務グループ TEL: 0265-77-1308  
(Email: nishikoma@shinshu-u.ac.jp)

◇期日：平成23年8月22日（月）～25日（木）

◇対象：全国の大学生

◇定員：50名程度

◇実習経費：食事、傷害保険代と宿泊費を併せて3000円、現地で徴収  
集合場所までの旅費は自己負担

◇申込締切：7月20日

◇申込先：〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304 信州大学農学部学務グループ  
TEL：0265-77-1354 FAX：0265-77-1313  
Email：[nishikoma@shinshu-u.ac.jp](mailto:nishikoma@shinshu-u.ac.jp)

◇集合時刻：9時

◇集合場所：信州大学農学部

◇実習内容：8/22（月）：集合・移動，ガイダンス・野辺山ステーションおよび近隣農家の見学

8/23（火）：午前：高原野菜の栽培管理と収穫

午後：野辺山および八ヶ岳周辺の野生生物の観察および調査（飯盛山登山）

8/24（水）：午前：繁殖和牛・山羊の飼養管理，乳用牛の搾乳および加工体験

午後：高原野菜の栽培管理と収穫，繁殖和牛・山羊の飼養管理と放牧観察

8/25（木）：午前：飼料作物の栽培管理，ソバの加工実習

昼食後解散

◇単位の認定：本学の協定校から参加する学生は、単位の互換認定があります。

他の国立大学から参加する学生の単位の認定については、お問い合わせください。

上記以外の公立・私立大学から参加する学生は、単位の認定が可能な場合がありますのでお問い合わせください。

※実習の詳細は、[シラバス](#)をご参照ください。

## 【講師紹介】

濱野 光市（信州大学農学部 附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター 教授）  
研究分野：動物生殖機能学（動物の生殖機能解析，生殖細胞生物学）

春日 重光（信州大学農学部 附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター 教授）  
研究分野：栽培学，育種学

岡部 繭子（信州大学農学部 プロジェクト研究推進拠点 助教）  
研究分野：高冷地生物生産管理学，作物学，栽培学（キーワード：連作障害，キャベツ，  
ベニバナインゲン，緑肥）

中村 寛志（信州大学農学部 附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター 教授）  
研究分野：昆虫生態学，環境評価（キーワード：チョウ類群集，オオルリシジミ，絶滅危惧種，  
生物多様性，多様度指数，中部山岳域，集合性昆虫，高山チョウ，垂直分布）

荒瀬 輝夫（信州大学農学部 附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター 准教授）  
研究分野：作物学

## 【問合せ・申込み】

信州大学 農学部 学務グループ 奥原，大工原  
〒399 - 4598 長野県上伊那郡南箕輪村 8304 信州大学農学部学務グループ  
TEL：0265 - 77 - 1354 FAX：0265 - 77 - 1313  
Email：[nishikoma@shinshu-u.ac.jp](mailto:nishikoma@shinshu-u.ac.jp)

## 【集合場所までの交通について】

※信州大学農学部への交通案内は，[こちら](#)をご参照ください。

※実習場所である信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター  
野辺山ステーションの情報は[こちら](#)をご参照ください。

※信州大学農学部周辺の宿泊施設については，[こちら](#)をご参照ください。